

令和元年度 第2回 学校保健委員会

- ・日 時 令和2年2月6日（木）15：45～17：00
- ・場 所 本校会議室
- ・テーマ 『今年度の保健室の取り組みについて』
『今年度の保健室の取り組みについて』
『本校での防災の取り組みと課題について』

<質疑応答>

◎非常時持ち出し袋の回収率（約50%）について

- ・なぜ全員提出されないのか？

→未提出のご家庭には、担任を通じて丁寧に声かけをしていく。現在は、任意の提出となっていることも要因ではないか。

- ・てんかんの薬について

水薬での提出では、教職員が1回分を計量することは出来ないことや保管が難しいため、主治医に相談してドライナップに変更してもらった。しかし、お湯や水には完全に溶けず、胃ろうに通らなかった。

本校校医 中嶋先生より

先ほど、保護者からのお話があったように、水薬は詰まりやすいなどの問題が多い。ドライナップの件は、現状を報告してどうしたいかをもう一度主治医に相談してみることをおすすめします。

災害時には、【命を守るために必要】なことが最優先。危機意識をお互いに持つことが大切になる。学校では、子どもたちの対応だけでなく、避難してきた地域の人にも対応しなくてはならないので、教職員の手が足りなくなることが予想される。自宅から本校に来られなくても、近隣の支援学校なら行ける場合は柔軟に対応するなど、横の繋がりも検討していただきたい。報告があった備蓄品については、せめて1～2日分は確保するなど考える。大規模災害を想定した対応は、先生方の努力により少しずつ進んできてはいるが、まだまだ現実的でない部分もある。今後もさらによく願いたい。イメージしていても現実には難しいことが多くある。今回の報告にはなかったが、保護者や関係機関との連絡手段をどうするかにも取り組んで欲しい。

和らぎ苑では、3日分の備蓄（パンもあって、なかなかおいしい）をしている。P-リグストックを実施している。スマホを活用して連絡網を作成している。災害時に誰が連絡するかなど出来る人がすぐ行動に移せる体制を検討している。

藤井寺保健所より

藤井寺保健所内の医療的ケア者は38名（気管切開、人工呼吸器など）である。災害時

登録台帳を作成しており、もしもの時はその台帳を使って動きの確認をとることになっている。また、関係医療機関との連絡方法の取り決めがあり、情報が集約されることになっている。

防災対策プロジェクトチームより

子どもたちに非常食に慣れてもらう目的とローリングストックの一環として、〇月の給食に非常食を出した。現在の検討課題として、栄養教諭と連携しての災害時の三日間のメニュー作成や、BTPガイドラインを参考にした医師・看護師・医療機関の確保がある。

今年度より、災害アドバイザーによる研修を積極的に行ってきた。まだまだ、課題はたくさんあるが、子どもたちの命を守るために力を合わせて頑張っていきたい。